

ACPトレーニングパッケージを用いた研修、ACPファシリテーター養成研修会が、複数ありますので、混同されないよう、説明させていただきます。

主催	知多半島においてアドバンスケアプランニングとエンドオブライフディスカッションを推進する会（下記※1）	国立長寿医療研究センター 緩和ケア診療部 ACPファシリテーター養成研修会 （下記※2）
開始年	2015年	2018年
研修会時期	年に一度10月から11月頃	2ヶ月毎
研修会場	幹事病院の付近の会場	国立長寿医療研究センター内
研修目的	自己研鑽と地域ACPの推進	
研修開催者	幹事病院	緩和ケア診療部
研修参加資格	幹事病院が、7病院に割り当てた参加者数内で、7病院の裁量で、自院および、自院の周辺地域から参加者を選出。	主な対象者は、大府市や東浦町の医療介護職ですが、会場に収容できる範囲で誰でも参加可能。緩和ケア診療部のホームページから申込可能。
研修プログラム	ACPトレーニングパッケージ ・E-ラーニングによるACPに関する知識の習得 ・ワークショップによるACP技術と態度の刷り込み	
研修修了証	幹事病院裁量で修了証発行	修了証なしで登録のみ
資格認定	なし	なし

※1 知多半島においてアドバンスケアプランニングとエンドオブライフディスカッションを推進する会

2015年に以下の参加病院が集まり発足しました。

参加7病院（年度記載は、幹事病院として研修会を開催した、または開催予定の年度）

- ・2015年 国立長寿医療研究センター
- ・2016年 南医療生活協同組合 総合病院 南生協病院
- ・2017年 半田市立半田病院
- ・2018年 愛知厚生連知多厚生病院
- ・2019年 常滑市民病院
- ・公立西知多総合病院
- ・地域医療機能推進機構中京病院

※2 ACPファシリテーター養成研修会（国立長寿医療研究センター緩和ケア診療部）

2018年、研修会の開催頻度を増やし、地域での学ぶ機会を提供するため発足しました。